

エリアイメージ

玉名市の事例 【ランドデザイン】

まちなかエリアを6つのエリアに分け、エリアごとの将来像としてエリアイメージを設定し、各エリアの特色やポテンシャルを生かした取組を進めます。



エリアごとの特色とポテンシャル

玉名のまちなかは、利便性の高い駅周辺や温泉街、歴史的特徴を持つエリアなどそれぞれのエリアで異なる特色やポテンシャルを持っています。地域のつながりなども加味し、「玉名駅」「駅通り」「高瀬・繁根木」「温泉」「文教」「新玉名駅」の6つのエリアに分け、それぞれの特色を生かしたまちづくりを進めます。

●まちなかエリアの特色・ポテンシャルとエリア分け



●まちなかエリア全体に関するポテンシャル

未来を担う仲間や子どもたちがいる！

まちなかでは、様々な活動・取組を行っている市民・民間団体が活躍しています。また、学校が多く立地し、高校生や大学生など次代を担う若者が集まる場所でもあります。地域と若者のつながりが、玉名の将来を担う仲間や子どもたちを育むきっかけとなり、今後のまちづくりにとって鍵となる重要な要素です。



学生も参加する
玉名未来づくり研究所の様子

活用できる「資源」がある！

空き家なども「活用」の視点で見るとポテンシャルのひとつです。特に、旧庁舎跡地や中央病院跡地などまとまった土地は、新たなにぎわいや交流を生む拠点となる場所として、活用が期待されます。



リノベーション活動

「おいしい」魅力がたくさん！

玉名ラーメンや玉名産の農産物など、市内外の人を魅了するおいしいものがたくさんあるのも特徴です。



玉名ラーメン

エリアごとの特色とポテンシャル

玉名駅エリア

- 玉名駅は乗車人員が県内7位
- バス、鉄道など利便性が高い
- 駅前でのイベント等が行われている



空き店舗などを活用してカフェや飲食店が増えたらもっとにぎわうかも？

駅通りエリア

- 駅が近くて便利
- スーパーがある
- 飲食店が多い
- 居酒屋など夜のお店が多い



駅に近い利便性を生かして食べ歩きやまち歩きができるようになると楽しそう！

高瀬・繁根木エリア

- カフェやラーメン屋など店舗が多い
- 高瀬裏川の花しょうぶなど景観が良い
- 古い町並みや寺社、大俵まつりなど歴史文化が残っている



高瀬裏川や古い町並みをさらに生かせると、訪れる人が増えたり玉名の歴史文化を若い世代に伝えやすいね！

温泉エリア

- 温泉・足湯がある
- 蛇ヶ谷公園など自然が豊か
- 県北唯一の4年制大学がある
- 高齢化率が最も低いエリア



アクセスを良くしたり、温泉をPRしてもっと生かしたら、インバウンドや他県からの観光客も増えるかも？

文教エリア

- 学校が多い
- 吹奏楽が盛ん
- おいしい飲食店がある
- 冬のイルミネーションがきれい



学生が楽しめる場所や若いうちからまちづくりに参加する機会が増えると玉名愛が強くなりそう！

新玉名駅エリア

- 新幹線を利用した高速アクセス
- 田園風景がある
- 市外からの来訪者が最も多いエリア



まだまだ発展途上な駅周辺、利便性を生かした施設や住宅地ができるとまちの活力が増すね！

玉名駅エリア

現況・課題

玉名駅エリアは、通勤・通学者など多くの人に利用されていますが、周辺の店舗・飲食店等は少ない状況です。公共交通利用者数が減少傾向にある中で、利便性が高く魅力のある駅前をいかに維持・改善していくかが課題です。

まちなかの玄関口

市民と行政等が協力し、訪れる人々が自分時間を楽しむことができる空間づくりや、情報発信、玉名駅の再整備等を通じて、心地よく魅力的な玄関口づくりを目指します。

やろう！ にぎわい・仕事が集まる

待ち時間を楽しく過ごすことができる空間づくり

- 空き店舗や公共空間を活用したオープンカフェや屋台村、若者向けのスポーツができるオープンスペースの設置
- 学生や周辺住民が利用できる勉強・図書スペースの設置
- 宿泊施設の整備 など

ほっとしよう！ 心地よい過ごし方を実現する

交通結節機能の改善

- 玉名駅の再整備や玉名市骨格幹線道路の整備、パークアンドライド駐車場の拡充、駅周辺のバリアフリー化などによる乗換機能の充実
- シェアモビリティなど新たな移動手段の確保 など

安全で心地よく使える駅前空間づくり

- 駅周辺の美化や街路灯等の維持管理による夜間も安心して利用できる駅前空間の形成 など

かたろう！ 玉名のスキ！を「かたり」あう

まちなかの玄関口としての情報発信・イベントの実施

- フリーボードや情報案内板を活用した市の魅力発信
- マルシェやコンサート、eスポーツ大会などの駅前でのにぎわいイベントの開催 など



玉名駅エリア

エリアの未来図

通勤・通学者やまちなかを訪れる人みんなが自分時間を楽しむことができる、まちなかへの出発点となるエリア



交通結節機能の改善

店舗・飲食店のにぎわい

駅前広場でのイベント等の実施

歩きやすくバリアフリーな駅・道路環境

待ち時間を楽しく過ごすことができる空間づくり

まちなかの玄関口としての情報発信・イベントの実施

安全で心地よく使える駅前空間づくり

駅通りエリア

現況・課題

駅通りエリアは、玉名駅に近い商店街として利便性が高い場所ですが、歩道が狭い、空き店舗が多いといった状況から通りを歩く人が少なくなっています。いかに歩いて楽しい環境を整備していくかが課題です。

駅とマチを楽しくつなぐ寄り道エリア

市民と行政等が協力し、様々な業種の出店や休憩場所の設置、イベントを開催することでにぎわいを創出したり、歩行者優先のまちづくりを進め、一日中、寄り道を楽しめる居心地の良いエリアを目指します。

やろう！ にぎわい・仕事が集まる

寄り道したくなる居心地の良いにぎわい空間づくり

- 空き店舗や公共空間を活用した飲食店やキッチンカーの出店促進
- 休憩場所の設置や歩行者天国の実施
- 若者やインバウンド観光客向けの文化体験の場の提供 など

ほっとしよう！ 心地よい過ごし方を実現する

歩行者中心で訪れやすく暮らしやすい空間づくり

- 歩道整備、休憩場所、駐車場の整備による歩行者中心の空間づくり
- 高齢者や子育て世代が暮らしやすい機能の充実 など

かたろう！ 玉名のスキ！を「かたり」あう

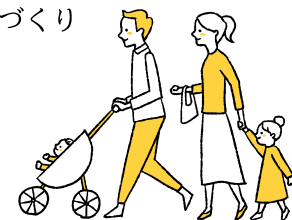
いろいろな世代に駅通りを散策してもらうための情報発信・イベントの実施

- 駅通りを楽しみながら歩いてもらうための祭りや音楽イベント、ウォーキングイベント、夜市の開催 など

つながろう！ 人と地域、未来とつながる

相互に助け合える仲間づくり

- 高齢者や子育て世代と地域とのつながりづくり など



駅通りエリア

エリアの未来図

まちなかを訪れる人や働く人々が、昼も夜も通りを散策し、ふらりと立ち寄り楽しく過ごす、暮らしやすさと居心地の良さを兼ねそろえたエリア

歩行者中心で訪れやすく暮らしやすい空間づくり

相互に助け合える仲間づくり

キッチンカーの出店

いろいろな世代に駅通りを散策してもらうための情報発信・イベントの実施

歩道空間を活用した屋台などの出店

寄り道したくなる居心地の良いにぎわい空間づくり



高瀬・繁根木エリア

現況・課題

高瀬・繁根木エリアは、高瀬裏川の花しょうぶや歴史・文化的な資源、カフェ・ラーメン屋等の飲食店など魅力的な資源が多くあります。一方で、他のエリアに比べ高齢化率が高い状況にあり、魅力的な資源をいかに次世代につなげていくかが課題です。

風情ただよう、“うろんころん”エリア

市民と行政等が協力し、まちなかの公有地や高瀬の町並み、地域資源の魅力を生かし、歩行者中心の快適な空間づくりや防災機能の充実を図ることで、ぶらりと歩き回る楽しさ(うろんころん)を感じつつ、安心して過ごせるまちづくりを目指します。

やろう！ にぎわい・仕事が集まる

高瀬の町並みを生かした新しいチャレンジ空間づくり

- 高瀬の町並みにマッチした、人が集まり交流できる店舗やチャレンジ施設の整備及び空き家の活用 など

ほっとしよう！ 心地よい過ごし方を実現する

歩行者中心で訪れやすく暮らしやすい空間づくり

- 歩道整備、憩いの場、駐車場の整備による安全で快適な歩行者中心の空間づくり
- 商業施設跡地の活用
- 防災機能の充実による安全・安心なまちづくり など

つながろう！ 人と地域、未来とつながる

歴史・文化・景観資源の保全・活用や、相互に助け合える仲間づくり

- 地域の歴史資源（日本赤十字社発祥ゆかりの地など）の保全・活用や郷土料理・ソウルフードなどの伝承
- まちづくりに向けた地域内の連携や近隣地域との連携 など

かたろう！ 玉名のスキ！を「かたり」あう

地域資源（歴史・文化・自然）を満喫する取組

- 地域の歴史や魅力の情報発信
- 菊池川、鶴の河原などでのアクティビティ実施
- 高瀬裏川や古い町並みを生かしたイベント（まち歩き、夜市、蚤の市、マルシェ） など

はぐくもう！ 玉名がスキ！を育てる

地域を学び、地域を好きになる人が増える取組

- 旧庁舎跡地を活用した子育て・交流拠点の整備
- 地域教育やコミュニティ育成のための、地域の子どもや大人も集まる寺子屋の開催 など



高瀬・繁根木エリア

エリアの未来図

市民やまちなかを訪れる人が歴史や文化を感じたり、菊池川の自然の恵みに触れることができる、人に紹介したくなるエリア



地域資源
(歴史・文化・自然)
を満喫する取組

菊池川での
アクティビティ

高瀬裏川の景観
保全・活用

歩きやすい通りの形成

歩行者中心で訪れやすく
暮らしやすい空間づくり

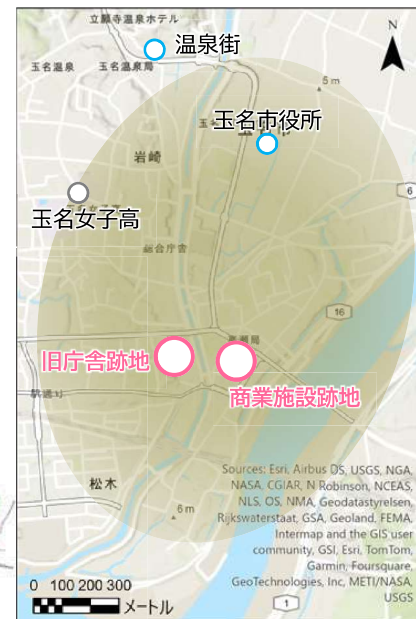
高瀬の町並みを生かした
新しいチャレンジ空間づくり

歴史・文化資源の活用や、
相互に助け合える仲間づくり

神社・仏閣等の
歴史・文化資源
の活用

旧庁舎跡地の活用
(子育て・交流拠点)

地域を学び、地域を
好きになる人が増える取組



温泉エリア

現況・課題

温泉エリアは、玉名市を代表する観光地のひとつであるとともに、市民にとっても身近で憩える温泉地ですが、市民ワークショップ等ではそのにぎわいの低下が指摘されています。観光客や市民にとっての魅力をいかに再生・向上させるかが課題です。

元気が湧く、くつろぎエリア

市民と行政等が協力し、温泉地の魅力を生かした景観づくりや歴史資源を生かしたPR、イベント開催を行い、公園や通りを浴衣でそぞろ歩きをするなど、温泉地ならではの楽しめる環境づくりを進め、訪れる人々がゆったりとくつろぎ、元気になれるエリアを目指します。

やろう！ にぎわい・仕事が集まる

温泉地の魅力を最大限に発揮する取組

- 温泉を生かした商業・運動施設など人が集まる空間づくり
- eスポーツ大会などのにぎわいイベントの開催
- 空き家を活用した宿泊施設の整備促進 など

かたろう！ 玉名のスキ！を「かたり」あう

温泉街や蛇ヶ谷公園での情報発信やイベントの実施

- 観光者向けの情報発信
- 多様なイベントの企画・開催（蛇ヶ谷公園を活用したマルシェやイベント、若者向け・高齢者向けのイベント） など

ほっとしよう！ 心地よい過ごし方を実現する

温泉街の風情を演出する快適な散策空間づくり

- 夜間でも浴衣でそぞろ歩きできる散策路など
風情ある安全で快適な空間づくり など



つながろう！ 人と地域、未来とつながる

歴史・地域資源の保全・活用や、相互に助け合える仲間づくり

- 歴史資源のPR促進
- 環境保全に向けた活動や活動を通じた新しい交流・仲間づくり
- まちづくりに向けた地域内の連携 など

温泉エリア

エリアの未来図

市民やまちなかを訪れる人が一日中温泉でくつろいだり公園で遊んで過ごし、元気になるエリア



温泉街や蛇ヶ谷公園での
情報発信やイベントの実施

温泉地の魅力を
最大限に発揮する取組

空き家等の活用

(石畳)

イベント等の実施

(足湯)

歴史資源の活用や、
相互に助け合える仲間づくり

浴衣で歩ける散策路

温泉街の風情を演出する
快適な散策空間づくり

観光客や市民の交流

文教エリア

現況・課題

文教エリアは、多くの学校が集中し学生が行き交うエリアで、吹奏楽などクラブ活動も盛んです。一方で、学生や周辺市民が自由に時間を過ごす場所・交流する場所が少ないといった意見もあり、いかにそういったニーズにこたえるかが課題です。

学びと交流エリア

市民と行政等が協力し、中央病院跡地を活用して図書館機能を核とした学びやくつろぎの場など、過ごしやすい環境の整備を進めることで、多世代が集い、共に学び成長できるエリアを目指します。

やろう！ にぎわい・仕事が集まる

中央病院跡地を活用した学びとくつろぎ、交流空間づくり

- 中央病院跡地や公共空間を活用し、図書館機能を核に学び、くつろぎ、交流する空間づくり など

ほっとしよう！ 心地よい過ごし方を実現する

誰もが安全で過ごしやすい環境づくり

- 道路沿道の美化や街路灯等の維持管理による、夜間も安心して往来できる歩行者空間づくり
- 防災機能の充実による安全・安心なまちづくり など

つながろう！ 人と地域、未来とつながる

地域資源の保全・活用や、相互に助け合える仲間づくり

- 地域資源の保全とそれらを活用したまちづくりを促進
- まちづくりに向けた地域内の連携 など

かたろう！ 玉名のスキ！を「かたり」あう

交流イベントによる魅力向上

- 多様なイベントの企画・開催（音楽イベント、マルシェ、夜市）など

はぐくもう！ 玉名がスキ！を育てる

地域と子どもをつなぐ活動の展開

- 清掃活動などを通じた地域と子どもをつなぐ活動
- すべての人々が学び、育みあえる空間づくり
- 地域コミュニティの育成 など



文教エリア

エリアの未来図

中高生をはじめ、多世代の住民が集まり、それぞれの興味を持ったことや、やりたいことに取り組むことができる学びと交流のエリア

誰もが安全で
過ごしやすい環境づくり

歴史資源の活用や、
相互に助け合える
仲間づくり

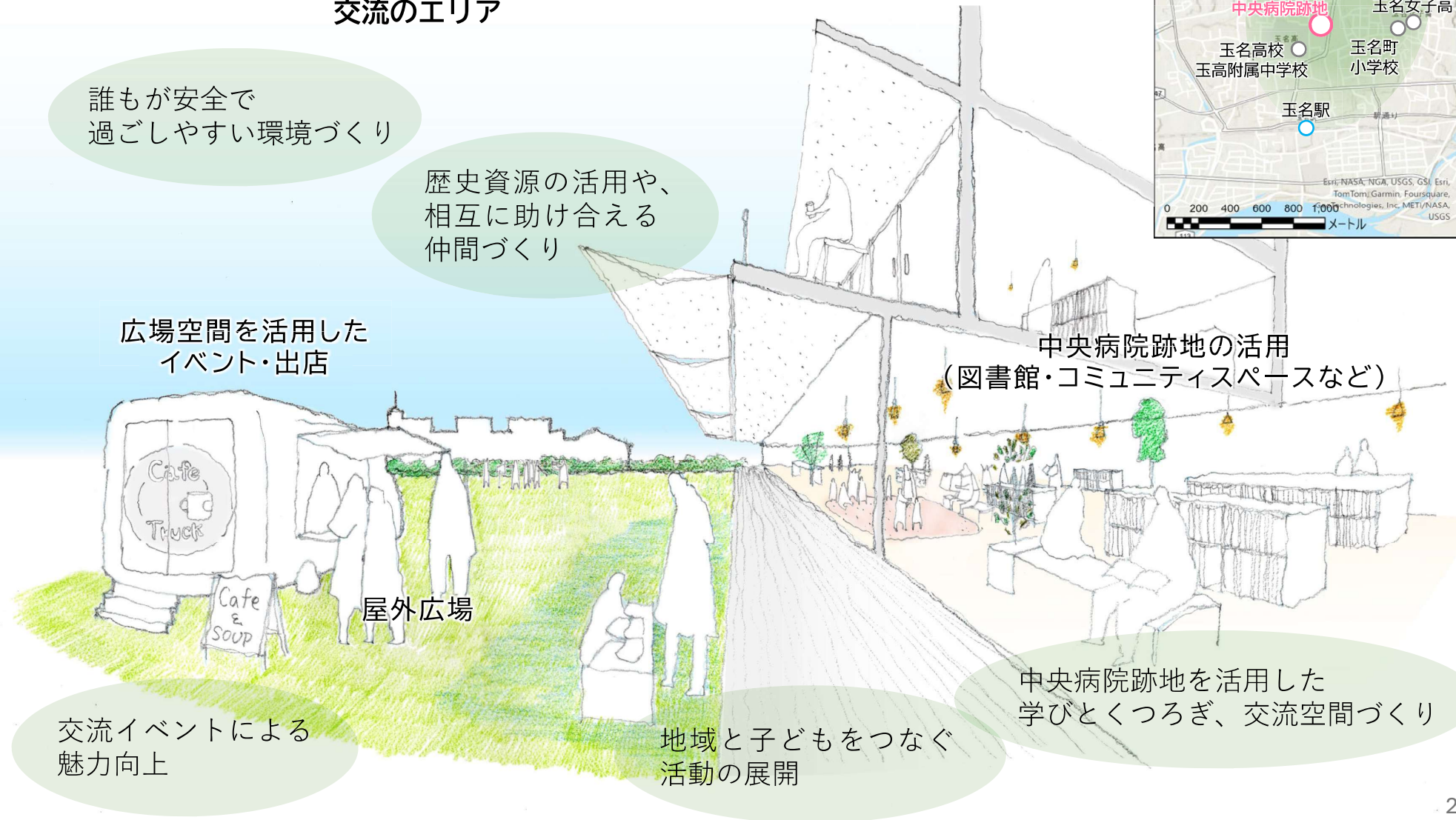
広場空間を活用した
イベント・出店

中央病院跡地の活用
(図書館・コミュニティスペースなど)

交流イベントによる
魅力向上

地域と子どもをつなぐ
活動の展開

中央病院跡地を活用した
学びとくつろぎ、交流空間づくり



新玉名駅エリア

現況・課題

新玉名駅エリアは、新幹線駅として市外・県外へのアクセス拠点となっていますが、駅周辺整備に取り組んでいるものの店舗や周辺施設が少ない状況です。アクセス性を生かした新たな拠点をいかに形成していくかが課題です。

シン・玉名を創るエリア

民間事業者と行政が協力し、周辺の自然や歴史・景観と調和した商業や宿泊を中心としたにぎわい空間を整備します。公共交通等の充実でアクセス性を向上させ、企業誘致による新たなまちづくりを進め、多様な世代が集う活気ある玄関口のエリアを目指します。

やろう！ にぎわい・仕事が集まる

商業や娯楽、スポーツを中心としたにぎわい空間づくり

- 大型商業・宿泊・スポーツ施設の誘致推進
- 駅前広場や芝生広場など、施設や空間を活用したイベントの開催
- 健康づくりに活用できるランニングコースやサイクリングコースの整備 など

つながろう！ 人と地域、未来とつながる

周辺の地域資源との調和を図る

- 周辺地域の資源や散策路、フットパスなどと新玉名駅前との連携
- 近隣地域やまちなか、玉名駅との連携 など

ほっとしよう！ 心地よい過ごし方を実現する

利便性が高く暮らしやすい環境整備

- 公共交通の充実やシェアモビリティの導入などアクセス性の向上
- 住宅や公園などの心地よい居住環境の整備 など

はぐくもう！ 玉名がスキ！を育てる

地域を学び、地域を好きになる人が増える取組

- 古墳群などへの案内誘導 など



新玉名駅エリア

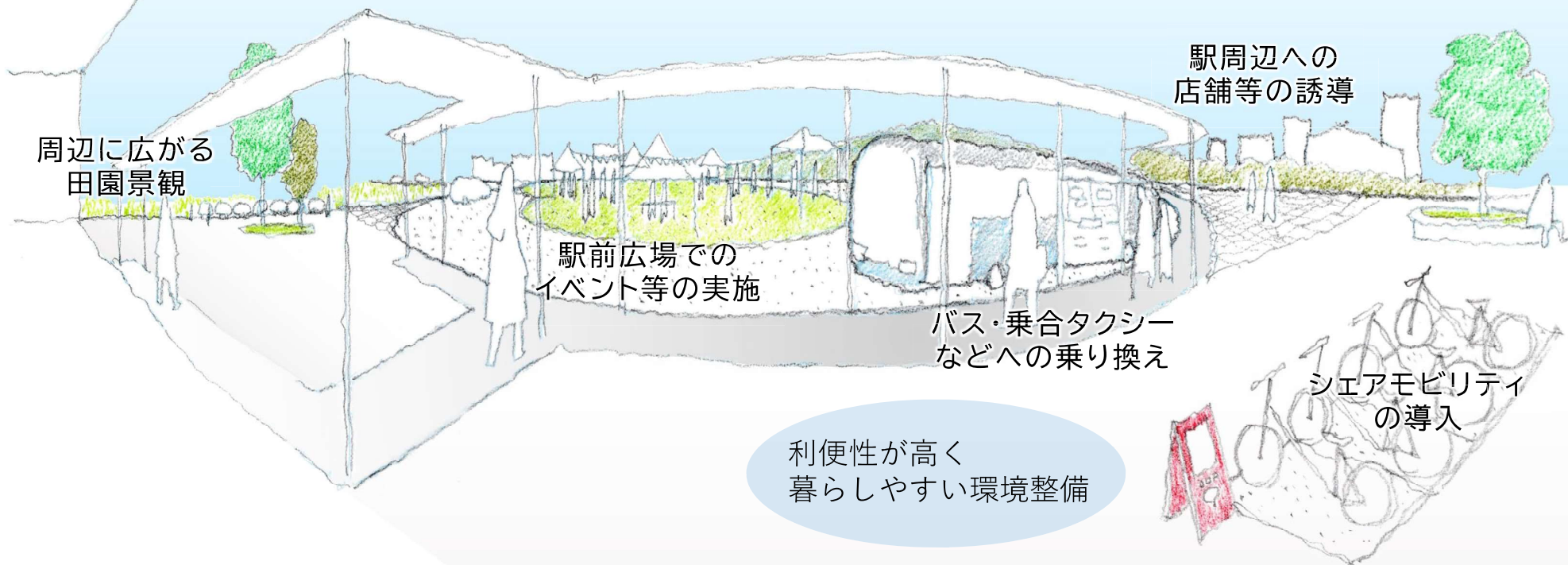
エリアの未来図

周辺の自然や歴史・景観と調和しつつ市民や観光客、ビジネス利用者などが娯楽、買物、宿泊、健康づくりなどを楽しめる多くの機能がつながるエリア



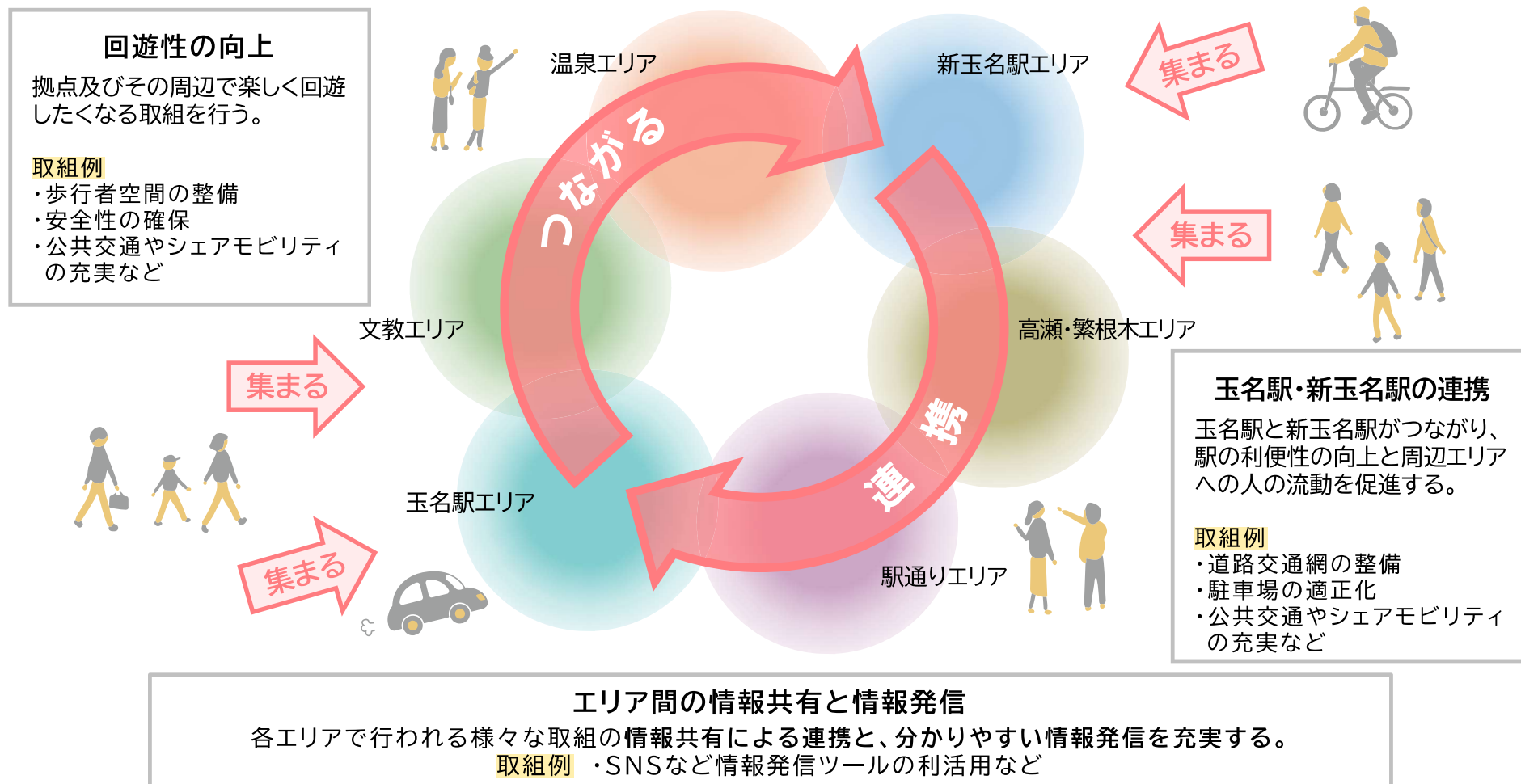
周辺の地域資源との調和を図る

商業や娯楽、スポーツを中心としたにぎわいの空間づくり



エリア同士の連携

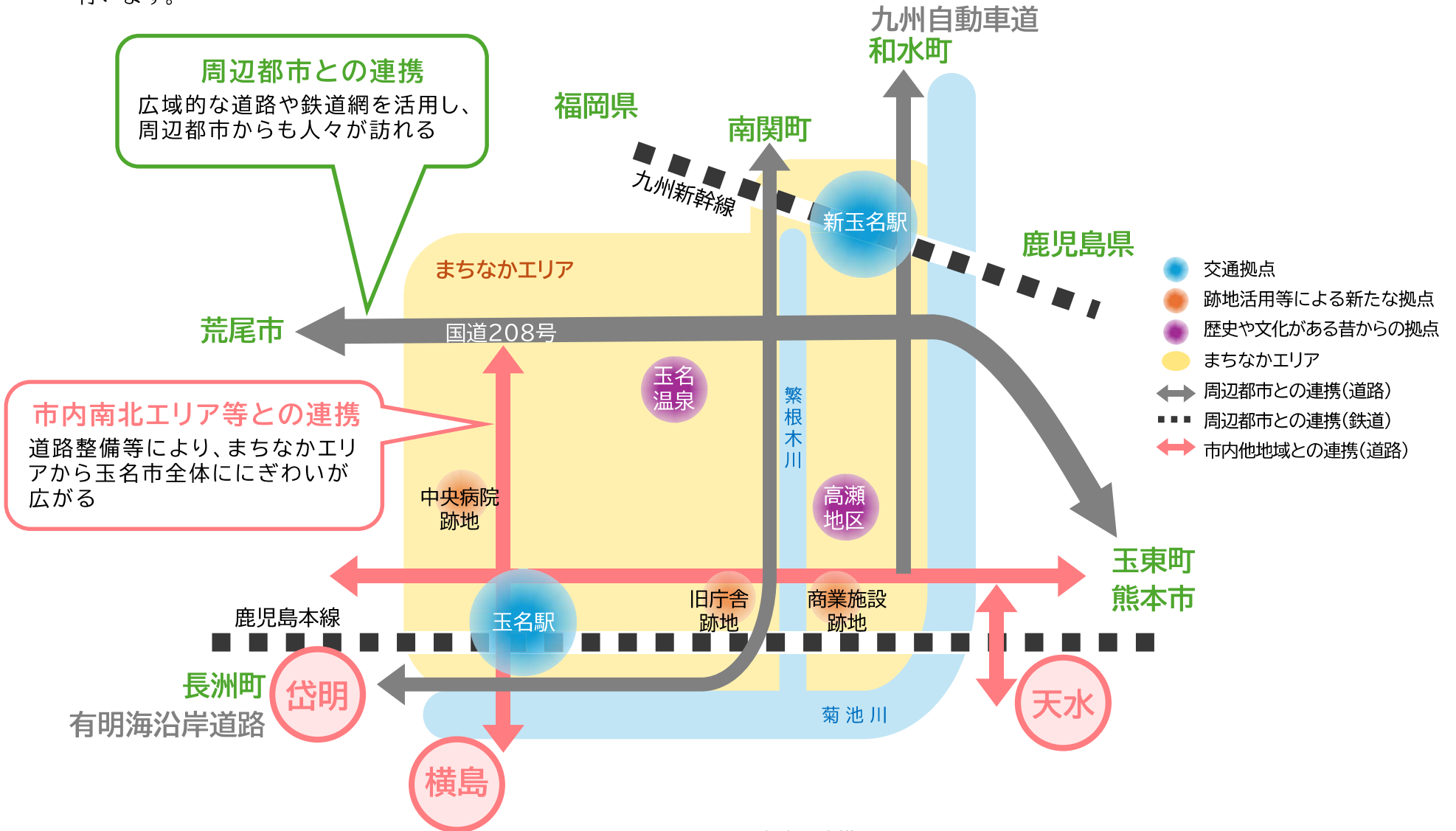
まちなかの6つのエリアが特色を生かしながら相互につながり、連携してまちづくりに取り組んでいきます。そのために必要となる歩きやすい環境づくりや公共交通・シェアモビリティの充実などを目指すとともに、各エリアでの取組の情報共有・発信を行います。



▲エリア同士の連携のイメージ

まちなかエリアと周辺地域の連携

まちなかエリアでの取組やそのにぎわいが広がるよう、まちなかエリアと周辺地域や近隣都市とのつながりを強める取組もあわせて行います。



公有地利活用の方針

まちなかの主要な公有地(旧庁舎跡地・中央病院跡地・商業施設跡地)については、それぞれのビジョンに基づき、一貫性のある取組を行います。また、それぞれの公有地については、点として捉えるのではなく、周辺との緊密なつながりの中で果たすべき役割を効果的に発揮する拠点としてマネジメントを行います。活用にあたっては、民間事業者等との連携による持続可能かつ創造的な事業手法についても積極的に検討します。

旧庁舎跡地利活用

中心となる行政機能

子育て応援施設
(子どもの遊び場)

避難所機能

ビジョン

子どもが健やかに成長し
親が安らぎを感じる空間

- 子どもが元気いっぱい遊び、学び、成長できる場所
- 親が安心して自分の時間を過ごし、リラックスできる場所

子どもも親も周囲の人も
笑顔になる空間を実現します



中央病院跡地利活用

中心となる行政機能

図書館

コミュニティ
スペース

屋外広場

ビジョン

自分らしく過ごせる家、ともに活動できる基地

- 若者が「憧れる大人」に出会い、そんな大人を目指せる場所
- それぞれが自分の人生の主演となり、やってみたいを实践できる場所
- 悩みがあるときはここを訪れ、人とのつながりの中で自分らしい時間を過ごす場所

ここでの日常が玉名での
いい思い出になる空間を実現します



商業施設跡地利活用

ビジョン

地域の回遊性を高める拠点

人の回遊を生み出すことで、
風情たどよう町並みが持つ
ポテンシャルを引き出します



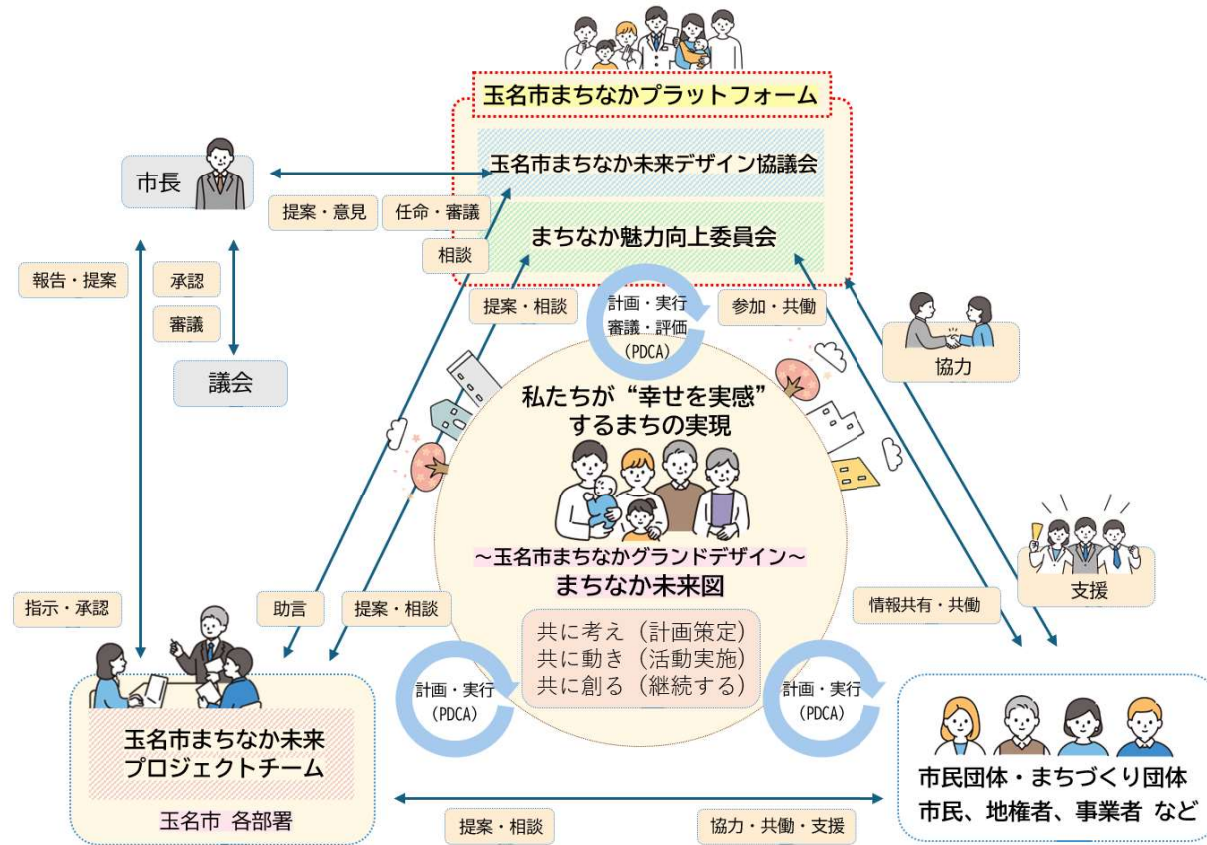
推進体制

●市民・事業者・行政がそれぞれの役割を担いながら協力して進めます。

「まちなか未来図」の実現に向けて各組織が「共に考え、共に動き、共に創る」の考えのもと、様々な取組や進捗管理を官と民が連携して行い、計画・実行・評価・改善を進めていきます。また、官民ともに活動の透明性を確保し、広報やプロモーション活動に取り組むことで新たな仲間を増やしていきます。さらに、民間組織が自己資金や収益モデルを持ち、“持続的に活動する”自走できる組織づくりに取り組んでいきます。

それぞれの役割

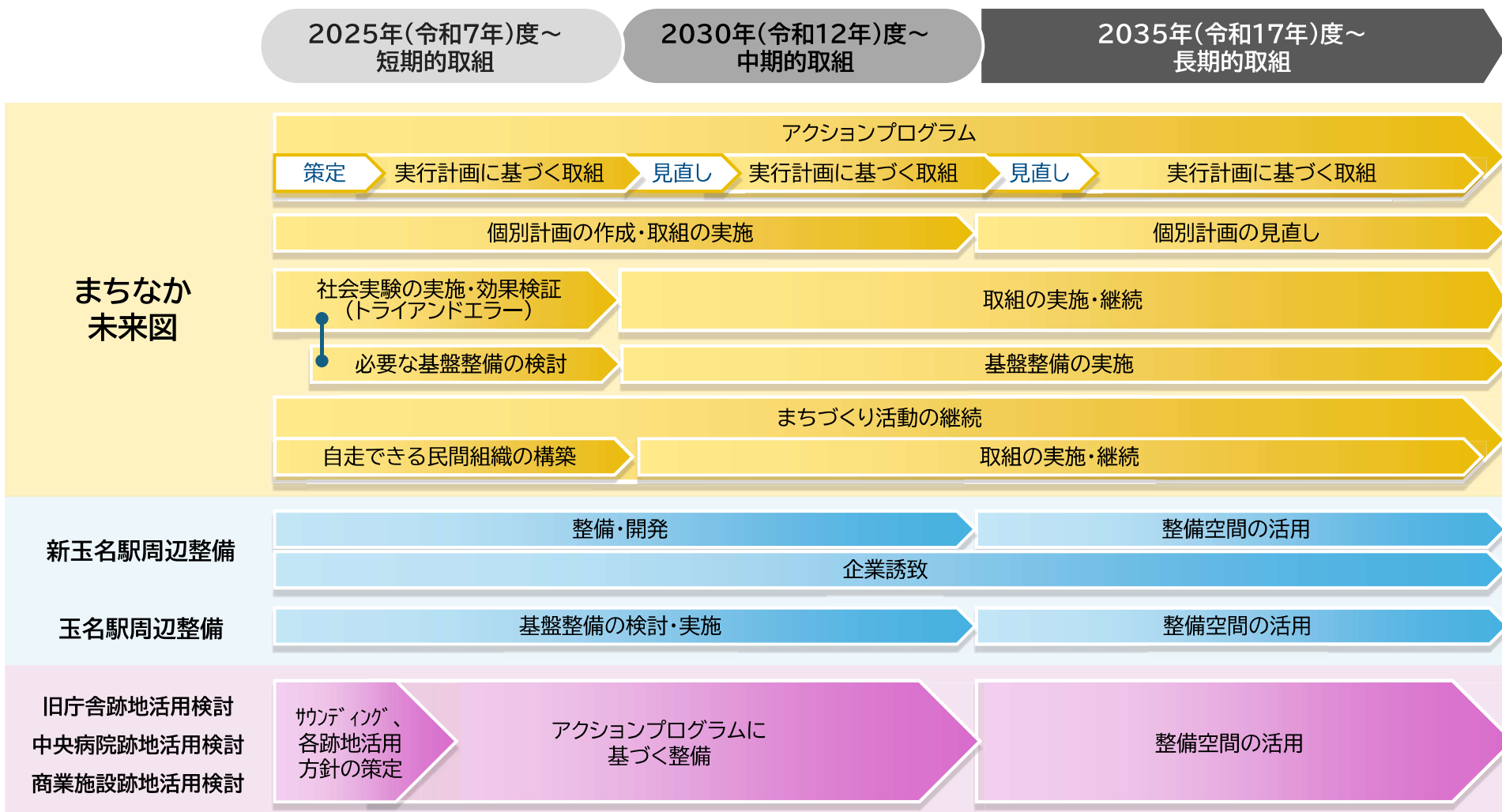
- **玉名市まちなか未来デザイン協議会**
まちなか未来図の実現に向けた取組などを応援・審議し、まちづくりの進捗についての助言・評価を行います。
- **まちなか魅力向上委員会**
少しずつ仲間を増やし、社会実験等の活動を通して行政と協力しながら地域資源の利活用やソフト面を主としたチャレンジを進めます。
- **市民や事業者、市民団体など**
地域に根差した取組を実施し、活動を通して自身の健康増進や人々との交流を深めながら、地域の活性化や安全安心な暮らしの保全などに向けた、自分にできる範囲の活動を継続して行います。
- **行政**
ソフトとハードの相乗効果を最大限に発揮するため、市民や事業者、市民団体などと協力し、ハード事業の検討やまちづくり活動の実施、市民活動への支援などを行います。また、民間活力を導入した都市基盤の整備や公有地の利活用などを進めます。



▲玉名市まちなか未来プロジェクトの推進体制イメージ

まちなか未来図の実現に向けたロードマップ

「まちなか未来図」の実現に向けて、「何のために」「いつ」「誰が」「何を」「どのように行うのか」必要な取組・施策をまとめた実行計画（アクションプログラム）を策定した上で、できることから取組をはじめていきます。施設整備などそれぞれの事業の具体的な検討においては、計画段階から利用者や事業者等の意向を踏まえながら進めます。



まちなか未来図の実現へ